

DEUCE 作戦、64人逮捕、188件立件

2月27日、14分署主要犯罪風俗犯罪課が、14分署管区内の特定場所での麻薬販売に関する4週間にわたる捜査を開始した。14分署風俗犯罪課は、分署内のほかの制服及び私服部門の援助を得て捜査をすすめた。この捜査は、住民からの苦情及び犯罪傾向統計分析の結果、以下の地域に焦点が当てられた。

オシントン・ブローア西通り

ランスダウン・ブローア西通り

ランスダウン・クイーン西通り

キング西・ダッフアリン通り

キング西・ストラッチャン通り

クイーン西・バザースト通り

今回及び前回作戦の目的は、麻薬密売人を特定、逮捕、告発することによって地域から一掃し、犯罪発生につながる状況を減少させ、地域の順法な住民、商店主や訪問者の生活の質に対する悪影響を排除することにある。

捜査は、主として薬物及び銃器関連の犯罪で逮捕64人、告発件数188件と、大きな成果を挙げた。今回の捜査の過程で、密売人から2丁の銃砲が押収された。

関連統計

逮捕者数;64

平均年齢;34才

最年長者;63才

最若年者;17才

告発件数;188

累計刑事告発件数;1099

平均累計告発数;17

保釈数;14

保護観察数;11

押収金額;\$8835

押収コカイン(粉末及び砕粒);62.61

押収マリワナ;30.59

麻薬取引と銃器が並存する場合、事態は一触即発で、致命的である。この捜査中にも、捜査官は特定場所における銃器の存在に関する情報を受けている。

風俗犯罪取り締課係官が執行した礼状に基づく家宅捜

査では、疑われた;

— Bryco .380 半自動拳銃が、弾丸8個を実装して回収された。

風俗犯罪課が麻薬購入おとり捜査を実施する間、14分署の主要犯罪課は同一地域で家宅捜索礼状を執行し、疑われた;

— Ruger .22 の先端を切って短くしたライフル、弾薬、コカイン、マリワナ及び犯罪による収益金が押収された。

64人の逮捕者のうち、

— 7人は留置

— 12人は保釈聴聞まで収監

— 5人は警察署から解放

— 3人が有罪を認め

— 37人が保釈された

この作戦で告発されたもののうち半数は14分署地域の住民ではない。この状況は前回の作戦時と同様であった。

(以下略)

JSS 説明

訳出した記事はこの一ヶ月に渡って14分署が繰り返し広げた麻薬密売の一斉取締りに関するものである。記事中に麻薬密売が横行していると思しき場所が特定されているので、危険を避ける手立てになりうるとの認識から訳出した。

記事中にある6地域は、筆者の知識ではそれぞれ必ずしも特殊な場所とは思えないところであり、麻薬などにまったく無関係な人々が多く出入りする場所だが、ひと月間の取締りで64人が逮捕され、多量の麻薬が押収されていることから、かなりおおっぴらな密売が行われていたことが想像できる。

一方記事とは異なるが、4月1日にトロント周辺地域の多くの司法機関が協力して実施した102件の令状に基づく家宅捜索、64件の令状に基づく車両捜索では、逮捕者125人、押収火器が事前に押収されたものを含めると42丁、多量の麻薬(たとえばコカイン約20kg、マリワナ約21kgなど)が押収されている。

いずれの記事からも、安全、平穏と見えるトロント周辺地域であるが、詳細に見ると単純に安心してられない状況があることが見て取れる。